

卒業証書を受ける大学美術文
化専攻科代表

〔金沢歌劇座〕



相手の目を見て話そう

平成22年度の金沢学院大学大学院学位記授与式並びに大学・短大の卒業証書・学位記授与式は、3月19日、金沢歌劇座で行われ、合わせて55人が清鐘台の学び舎を巣立ちました。式典では、参列者全員で東日本大震災の被災者に哀悼の意が示され、被災地の復興を祈りました。

槐木裕学長が短大2学科、同専攻科、大学8学科、同美術文化専攻科、大学院経営情報研究科、人文学研究科の各代表14人に卒業証書、修了証書、学位記を授与しました。学業成績優秀者30人に対する学長褒賞が短大・大学の代表5人に、スポーツ功労者としてトランポリン部の伊藤正樹君(経営情報学部スポーツビジネス学科)に学長表彰が贈られました。

槐木学長は式辞で、デンマークの思想家キルケゴーの言葉「さあ、こい。勇敢に飛び込め。よしんばる軽率な飛躍であっても、果斷でさえあれば、まずはそれがよいのだ」を引用し、「失敗を恐れず挑戦してほしい」とエールを贈りました。

飛田理事長は告辭で、対面し目を見て話をすることの大切さに触れ、「その人のものの見方や考え方、人となりにじかに触れる



講演する平下教授

=セミナー教室

式終了後、「卒業記念の集い」が金沢二ユーロランドホテルを会場に開催されました。卒業生はお世話になった先生方を囲み、感謝を述べると共に学生生活の名残を惜しんでいました。

金沢学院新聞広告「オープンキャンパス」が北國広告賞(銅賞)を受賞しました。3月23日、北國新聞交流ホールで贈呈式が行われました。

北國広告賞受賞

平成22年度の金沢学院大学大学院学位記授与式並びに大学・短大の卒業証書・学位記授与式は、3月19日、金沢歌劇座で行われ、合わせて55人が清鐘台の学び舎を巣立ちました。式典では、参列者全員で東日本大震災の被災者に哀悼の意が示され、被災地の復興を祈りました。

槐木裕学長が短大2学科、同専攻科、大学8学科、同美術文化専攻科、大学院経営情報研究科、人文学研究科の各代表14人に卒業証書、修了証書、学位記を授与しました。学業成績優秀者30人に対する学長褒賞が短大・大学の代表5人に、スポーツ功労者としてトランポリン部の伊藤正樹君(経営情報学部スポーツビジネス学科)に学長表彰が贈られました。

右は一本学で学んだ教育理念『創造』をモットーにこれからも向上心を持ち続けていきたい、また、大学卒業生代表の古川夢乃さん(文学部国際文化学科)写真左は「卒業で勉強が終了するわけではない。困難を恐れず未来を『創造』していく」と、抱負を述べました。

平下政美教授が「子供から中高年まで一待ったなし、急ごうよ、いきます」と、抱負を述べました。昨今の「健康志向ブルーム」を反映して、定員を超える約60人の受講生が来場しました。講演終了後も真剣な質問が続きました。講演内容は、3月29日北國新聞朝刊で紹介されました。

北國新聞文化センター講師による体育ダンス・ヨガ実習、英会話講座などで、土曜日は、進学特別コースの「土曜授業」が行われる予定です。

555人が旅立つ—学院大・短大卒業式

勇敢に飛び込め

ことができる。会話をすることは知識や教養が必要。新聞に目を通し、本を読む習慣を身につけてほしい」と要望しました。

答辞で、短大卒業生代表の茨友恵さん(ライフデザイン総合学科)写真右は一本学で学んだ教育理念『創造』をモットーにこれからも向上心を持ち続けていきたい、また、大学卒業生代表の古川夢乃さん(文学部国際文化学科)写真左は「卒業で勉強が終了するわけではない。困難を恐れず未来を『創造』していく」と、抱負を述べました。

平下政美教授が「子供から中高年まで一待ったなし、急ごうよ、いきます」と、抱負を述べました。昨今の「健康志向ブルーム」を反映して、定員を超える約60人の受講生が来場しました。講演終了後も真剣な質問が続きました。講演内容は、3月29日北國新聞朝刊で紹介されました。

北國新聞文化センター講師による体育ダンス・ヨガ実習、英会話講座などで、土曜日は、進学特別コースの「土曜授業」が行われる予定です。

東高校の香林坊教室 オープン